

環境に配慮した取り組み ～ CO₂排出量削減へ ～

<環境に配慮した取り組み>

1. オンサイト PPA の導入（自社内での太陽光発電設備による自家発電）

2023年9月より、横浜生産技術センターにて、自家消費型太陽光発電の電力の使用を開始しました。太陽光発電で不足する電力は、実質再エネ 100%メニューによる電力を使用しています。併せて、BCP の観点から太陽光発電設備+蓄電池を導入し有事の際に最低限の電力を確保することが可能になりました。

生産技術センター2階屋根



生産技術センター3階屋根



2. オフサイト CPPA の導入（自社外での太陽光発電設備による自家発電）

2023年11月より、横浜第3工場では、弊社HPのお知らせ（2023年1月16日付）の通り、当社敷地外にて太陽光発電設備で発電した電力を送配電網に介して、電力供給される電力の使用を開始します。太陽光発電で不足する電力は、実質再エネ 100%メニューによる電力を使用します。敷地内外を問わず、再生可能エネルギーの活用を促進を進めております。

3. すべての工場で、再生可能エネルギー由来の電気を使用

2023年11月より、東京工場、横浜工場で使用するすべての電力が再生可能エネルギー由来電力の使用を開始します。

オンサイト PPA（電力販売契約）、オフサイト CPPA（発電事業者と直接、電力購入契約を結ぶ）、実質再エネ 100%メニューによる電力購入により、年間で約 1800 t の CO₂排出量がゼロになる見込みです。